

科目名	担当教員	学期	単位
憲法演習A	川岸 令和	前期	2

講義概要

本演習の目的は、憲法学の基本的概念の検討を通じて、国家の基本法としての憲法の特徴を理論的に分析することにある。リベラル・デモクラシーの制度化としての憲法という視点から、憲法をめぐる諸問題を多角的に考察する。

今期は、プライバシーをめぐる諸問題を取り上げる予定である。具体的には演習参加者と相談の上、講読文献を決定するつもりであるが、候補としてCharles Fried, “Privacy,” 77 Yale L.J. 475 (1968); Richard A. Posner, “The Right to Privacy,” 12 Ga. L.Rev. 393 (1978); Robert C. Post, “Three Concepts of Privacy,” 89 Geo. L.J. 2087 (2001); Julie E. Cohen, “Examined Lives: Informational Privacy and the Subject as Object,” 52 Stan. L.Rev. 1373 (2000); Daniel J. Solove, “Conceptualizing Privacy,” 90 Cal. L.Rev. 1087 (2002)などを考えている。

シラバス

- [第1回] はじめに
- [第2回] 文献の講読
- [第3回] 文献の講読
- [第4回] 文献の講読
- [第5回] 文献の講読
- [第6回] 文献の講読
- [第7回] 文献の講読
- [第8回] 文献の講読
- [第9回] 文献の講読
- [第10回] 文献の講読
- [第11回] 文献の講読
- [第12回] 文献の講読
- [第13回] 文献の講読
- [第14回] 文献の講読
- [第15回] まとめと展望

教科書

Charles Fried, “Privacy,” 77 Yale L.J. 475 (1968).
 Richard A. Posner, “The Right to Privacy,” 12 Ga. L.Rev. 393 (1978).
 Robert C. Post, “Three Concepts of Privacy,” 89 Geo. L.J. 2087 (2001).
 Julie E. Cohen, “Examined Lives: Informational Privacy and the Subject as Object,” 52 Stan. L.Rev. 1373 (2000).
 Daniel J. Solove, “Conceptualizing Privacy,” 90 Cal. L.Rev. 1087 (2002).
 など。

参考文献

演習の進捗にあわせて適宜紹介する。

評価方法

演習への参加の度合いにより判定する。

関連URL

備考